

平成30年7月25日

お知らせ

公営企業管理局発電工水課
(内線2801)

肱川発電所における微量PCB廃棄物の流失について

公営企業管理局肱川発電所において、平成30年7月豪雨による発電所浸水に伴い、同敷地内倉庫に保管していた微量PCBを含有する廃棄物が所在不明となる事案が発生しましたので、お知らせします。

7月7日(土)の被災後、調査を行っていたところ、一部の微量PCB廃棄物の所在が不明であることが判明しました。肱川の氾濫により流失したものと思われます。当局としては、八幡浜保健所に届出を行うとともに、引き続き所在の確認を行っておりますが、16点中下記5点については、いまだ発見には至っておりません。

地域住民の皆様にご心配をおかけすることとなり、お詫び申し上げます。

記

1 所在不明の微量PCB廃棄物

	廃棄物の種類	容器の形状	重量又は体積	濃度
1	微量PCB汚染油	透明のプラスチック容器	約30ml	4.8ppm
2	微量PCB汚染油	銀色の金属製容器	約300ml	4.8ppm
3	微量PCB汚染 ウエス、プラスチック	白色のプラスチック容器	約5.9kg	4.8ppm
4	微量PCB汚染 ウエス、プラスチック	白色のプラスチック容器	約6.5kg	4.8ppm
5	微量PCB汚染 ウエス、プラスチック	黄色のビニール袋	約25kg	4.8ppm

2 人体等への影響

PCB(ポリ塩化ビフェニル)は、急性な毒性は低く、長期間または大量に摂取しない限り影響を受けることはなく、今回流失した少量かつ低濃度のPCBによる人体や生態系への影響はほとんどありません。

3 お問い合わせ

別添の容器や疑わしいもの等を見つけられた方は、松山発電工水管理事務所(電話089-975-0901)又は公営企業管理局発電工水課(電話089-912-2800)までご連絡をお願いします。

なお、念のため素手では触らないようご注意ください。



1 プラスチック製容器 約 30ml



2 金属製容器 約 300ml



3 プラスチック製容器 約 5.9kg



4 プラスチック製容器 約 6.5kg



5 金属製容器内に保管していた
黄色のビニール袋 約 25kg